

令和6年度 壱岐市立沼津小学校 学力向上プラン

R5標準学力調査（3学期版）における本校の「平均正答率」は次のような結果となった。

（↑全国平均を上回っている。↓全国平均を下回っている。≒全国平均と同等）

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
国語	75.5≒	89.9↑	53.6↓	66.7≒	77.4↑	79.5↑
算数	82.6↑	76.7↑	56.3↓	72.0↑	63.7≒	85.4↑

○学力の二極化傾向が見られる。

○考えを記述する問題の解答に、特に個人差が見られる。

本校の結果の集計・分析に基づく課題改善の取組

	集中的・短期的プラン	継続的・長期的プラン
組織	○校内研修 ・算数科の基礎基本の徹底 ○学力向上推進 ・家庭学習強化週間の実施	○校内研修 ・算数科においてICTを効果的に活用して主体的、対話的で深い学びを実現する児童の育成を目指す。 ○学力向上推進 ・「家庭学習の手引き」の配付・実施 ・PDCAサイクルをもとにした自主学習の習慣化 ・ミライシードのドリルパークを活用し、基礎基本の定着をはかる。
授業での取組	○授業改善 ・『第五版』を参考として、授業改善を図る。 ・互いの授業を見せ合い、ICTの効果的な活用の仕方や子どもが主体的、対話的に学ぶ授業を共有する。	○授業改善 ・『第五版』を参考として授業の質的な向上と日常化を図る。 ○教員の指導力向上を図る ・学級経営や授業づくりの悩みなどを共有し、改善していくことができる研修の設定。 ・教室の窓やドアを開けておいて、日常的に授業を参観し合える環境作りを行う。 ○読書活動の推進 ・朝の読書の質的向上（学校司書の活用） ・郷ノ浦図書館との連携した図書活動
全教育活動での取組	○学習環境の整備 ・全校で学習用具や学習のきまりを統一し、全校でそろえられるルールを明確に示す。 ・1人1台端末を、授業で積極的及び効果的に活用し、子どもの学びを深める。 ○児童が主体的に活動する教育活動 ・「しらべる」過程で自己調整学習を仕組んだり、ICTを効果的に活用したりする。 ・「ねりあげる」過程で手順を提示し、視点を与えて話合わせることで、児童が主体に学習を深める。 ○授業や体験活動後の「ふりかえり」の徹底 ・「自分の学び」をふりかえることができるような視点を提示し、書くことを主として自分の言葉で振り返らせる。（できた・わかったこと・なぜわかったかを中心に記述し、自己肯定感を高めていく。）	
家庭との連携	○家庭学習の徹底 ・「家庭学習の手引き」を活用した取組の啓発（学級育友会での啓発） ・家庭読書の推進（家庭での10分間読書の定着を図る） ○家庭教育の環境づくり ・「早寝・早起き・しっかり朝ごはん・朝うんち」の定着 ・ノーメディアチャレンジへの取組 ・各種講演会やファミリープログラムを通して啓発	